



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月12日

上場取引所 札

上場会社名 健康コーポレーション株式会社

コード番号 2928 URL <http://www.kenkoucorp.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 瀬戸 健

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 香西 哲雄

TEL 03-5337-1337

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	28,365	83.6	1,402	511.7	1,210	151.5	1,172	△40.8
26年3月期第3四半期	15,448	15.0	229	—	481	597.1	1,979	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 1,200百万円 (△40.0%) 26年3月期第3四半期 1,999百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	19.00	—
26年3月期第3四半期	32.08	—

当社は、平成27年1月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	33,498	6,794	18.1
26年3月期	27,948	5,675	18.4

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 6,070百万円 26年3月期 5,142百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	3.36 ～3.74	3.36 ～3.74

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成27年3月期(予想)期末の配当金については、平成27年1月1日を効力発生日として普通株式1株を2株に分割する株式分割を考慮した額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の年間配当額は、6円73銭～7円48銭となります。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,062	55.0	2,018	79.0	1,931	48.2	1,153	△57.3	18.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成27年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、平成27年1月1日を効力発生日として普通株式1株を2株に分割する株式分割を考慮した額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の1株当たり当期純利益(通期)は、37円38銭となります。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
 新規 3社 (社名) 株式会社Xio、株式会社アンティローザ、株式会社エーエーディ、除外 1社 (社名) 株式会社クリアベルデ
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	30,859,000 株	26年3月期	30,859,000 株
27年3月期3Q	0 株	26年3月期	0 株
27年3月期3Q	30,859,000 株	26年3月期3Q	30,859,000 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、平成26年11月14日開催の取締役会決議により、平成27年1月1日付けで普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これにより平成27年1月1日付けをもって、発行済株式数は30,859,000株増加し、61,718,000株となっております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	6
4. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12
(重要な後発事象)	14

当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。

・平成27年3月5日(木)・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

上記説明会のほかにも、当社では、個人投資家の皆様向けに適宜、事業・業績に関する説明会を開催しています。開催の予定等については、当社ホームページをご確認ください。

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成26年4月1日～平成26年12月31日）における我が国経済は、個人消費などに弱さがみられるが、緩やかな景気回復基調が続きました。先行きについては、当面、弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで、政府による各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待されます。ただし、消費者マインドの低下や海外景気の下振れなど、我が国の景気を下押しするリスクに留意が必要な状況が続いております。

このような経営環境の下、当社グループは、M&Aにより拡大したグループ各社との事業シナジーの最大化に取り組むとともに、引き続き成長事業への投資と当社の最大の強みである広告宣伝を活かした販売支援によって成長が見込まれる事業領域へのグループ拡大を推進しました。平成26年12月19日付でグループ会社となった株式会社エーエーディは50年以上の実績に裏付けられた企画力、クリエイティブ力、高品質な制作物の制作力等の高い技術力やノウハウを保有しているため、当社グループの広告宣伝力の更なる向上に寄与することが期待できます。

美容・健康関連事業におけるRIZAP株式会社及び当社通販事業におきましては、前期までは第1四半期・第2四半期で行った投資に対して第3四半期・第4四半期で回収を行う事業計画でありました。当第3四半期は計画を上回る第4四半期・来期に向けた広告宣伝活動を積極的に進めてまいりました。このような先行投資は利益を抑制しますが、当第3四半期連結会計期間において四半期ベースで過去最高の営業利益を達成し、当第3四半期連結累計期間の利益水準は当初業績予想を大幅に上回りました。

創業より3年という短期間で売上100億円を達成し、さらに成長を続けるパーソナルトレーニング事業「RIZAP（ライザップ）」においては、依然として多数のお客様にお待ちいただいている状態が継続し、翌年まで持ち越したお客様が多い中、1月においては過去最高の問い合わせ件数をいただいております、好調な状態が続いております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高28,365百万円（前第3四半期連結累計期間は15,448百万円）、営業利益1,402百万円（前第3四半期連結累計期間は229百万円）、経常利益1,210百万円（前第3四半期連結累計期間は481百万円）、四半期純利益は1,172百万円（前第3四半期連結累計期間は1,979百万円）となりました。

セグメント別の事業概況は、次のとおりであります。

(美容・健康関連事業)

美容・健康関連事業は大きく分けて「美容関連分野」と「健康食品分野」になり、美容関連分野は当社を中心に、RIZAP株式会社、株式会社ジャパングャルズ及び株式会社ジャパングャルズSCが事業を行っており、健康食品分野は当社及び株式会社ジャパングャルズSCが事業を行っております。また、エムシーツー株式会社は美容関連・健康食品両分野においてコールセンター事業による販売支援活動を行っており、株式会社Xioは主にRIZAP株式会社のシステム構築及び当社ウェブサイトの改良を行っております。平成26年12月19日付でグループ会社となった株式会社エーエーディは50年以上の実績に裏付けられた企画力、クリエイティブ力、高品質な制作物の制作力等の高い技術力やノウハウを保有しているため、当社グループの広告宣伝力の更なる向上に寄与することが期待できます。

この分野における当社通販事業におきましては、新規顧客獲得の為の広告宣伝活動を行いつつ、第2四半期までに獲得した顧客向けに各種キャンペーンや継続率向上施策に取り組んでまいりました。

美容・健康関連事業におけるグループ会社につきましては、RIZAP株式会社は当社プロデュースによる積極的な広告宣伝活動が奏功し、新規獲得会員数を更に伸ばし、累計24,000人を超えました。また、10月には過去最高の月間ご利用人数を更新いたしました。今後も積極的な出店に加えて、パーソナルトレーナーのサービスレベルの向上に取り組んでまいります。株式会社ジャパングャルズはOEM化粧品及び美容機器の販売が堅調に推移し、海外の販路拡大に向け取り組んでまいりました。株式会社ジャパングャルズSCは第1四半期の合併により物流に係る固定費の削減、人員の適正配置による販売力の強化を行ってまいりました。

この結果、美容・健康関連事業での売上高は15,630百万円（前第3四半期連結累計期間は11,007百万円）、営業利益は1,616百万円（前第3四半期連結累計期間は486百万円）となりました。

(アパレル関連事業)

アパレル関連事業は、マタニティウェアや出産内祝いギフト等を販売する株式会社エンジェリーベ、婦人服を企画、製造販売する株式会社馬里邑、婦人服及び紳士服を企画、販売する株式会社アンティローザが事業を行っております。

株式会社エンジェリーベは9月にマタニティカタログの廃止と並行して通信販売ウェブサイトリニューアルを行い、カタログ通販からネット通販による販路の変更を行ったことやマタニティカタログの廃止に伴う大幅なコスト

削減の効果により、収益構造が改善傾向にあります。株式会社馬里邑は主たる販路である百貨店等の店頭販売に加え、新たな販路として9月に当社の強みである広告宣伝におけるノウハウを結集したカタログによる通信販売を展開するとともに10月には試験的に交通広告を展開いたしました。株式会社アンティローザも株式会社馬里邑と時期を同じくして試験的に交通広告を行い、今後の販売増につながる手ごたえを実感しております。

この結果、アパレル関連事業の売上高は3,752百万円（前第3四半期連結累計期間は2,018百万円）、営業損益は△45百万円（前第3四半期連結累計期間は△141百万円）となりました。

（住関連ライフスタイル事業）

株式会社アイデアインターナショナルは住関連ライフスタイル商品の企画・開発及び販売を行っております。

同社における平成27年6月期第2四半期累計期間（平成26年7月1日～平成26年12月31日）の業績は、前期平成26年6月期第2四半期累計連結業績に比べて、売上は2,925百万円と394百万円の増収、経常利益は31百万円と71百万円の増益、四半期純利益は2百万円と83百万円の増益と業績が大幅に改善されました。業績が改善された主な要因は高コスト体質からの脱却を目指して、平成25年10月以降、経費の見直し、業務委託の見直し、適正な人員配置などコスト削減に取り組んだ結果、前期第1四半期に比べて大幅な販売管理費の削減を達成しております。また平成26年2月に日本リレント化粧品株式会社と合併し、製造機能を強化し、調達から販売まで一貫した商品供給が可能となったことも売上、利益の拡大に寄与いたしました。

売上については、インテリア雑貨において、キッチン家電を中心としたインテリア商品ブランド「ブルーノ」が好調に推移し、中でも「ホットプレート」は当初の想定以上の売上を上げております。またトラベル商品ブランド「ミレスト」は平成26年7月にオープンした「Travel Shop Gate 成田国際空港店」を始めトラベルショップ5店舗すべて好調に推移し、売上を伸ばしております。また、リレント化粧品関連販売の売上も増収に貢献いたしました。

利益については、前述の売上の増加と収益改善策の一環として前期より引き続き実施しているコスト削減策の効果が寄与いたしました。円安の影響による為替差損が発生いたしました。

この結果、当社連結業績における住関連ライフスタイル事業の売上高は4,157百万円（前第3四半期連結累計期間は1,328百万円）、営業利益は39百万円（前第3四半期連結累計期間は60百万円）となりました。

（エンターテイメント事業）

エンターテイメント事業は、SDエンターテイメント株式会社が事業を行っております。

第2四半期累計期間は、コスト削減等を中心とする施策を実行し、第3四半期以降は売上拡大・成長を主眼とすることを進め、集客拡大及び売上増加の具体的施策として、ボウリングでは「パーティボウリング」の推進、ゲームでは「タイムアミューズメント（時間消費型レジャー）」モデルの徹底、フィットネスでは店舗ブランド変更に伴う入会キャンペーンの実施など、積み重ねによる施策を実行中であります。その結果、今第3四半期累計期間は、売上で前年同四半期を割り込んだものの、利益面では前年同四半期を上回りました。

この結果、エンターテイメント事業の売上高は5,426百万円、営業利益は141百万円となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて33.0%増加し、19,158百万円となりました。これは主として、現金及び預金が1,472百万円、受取手形及び売掛金が2,812百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて5.8%増加し、14,259百万円となりました。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて19.9%増加し、33,498百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて23.7%増加し、16,927百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が337百万円、1年内返済予定の長期借入金が603百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて13.8%増加し、9,776百万円となりました。

この結果、総負債は、前連結会計年度末に比べて19.9%増加し、26,703百万円となりました。

（純資産）

純資産は、前連結会計年度末に比べて19.7%増加し、6,794百万円となりました。これは主として、利益剰余金が930百万円、少数株主持分が181百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

美容・健康関連事業におけるRIZAP株式会社及び当社通販事業におきましては、前期までは第1四半期・第2四半期で行った投資に対して第3四半期・第4四半期で回収を行う事業計画でありました。当第3四半期は計画を上回る第4四半期・来期に向けた広告宣伝活動を積極的に進めてまいりました。このような先行投資は利益を抑制しますが、当第3四半期連結会計期間において四半期ベースで過去最高の営業利益を達成し、当第3四半期連結累計期間の利益水準は当初業績予想を大幅に上回りました。

創業から3年という短期間で売上100億円を達成し、さらに成長を続けるパーソナルトレーニング事業「RIZAP(ライザップ)」においては、依然として多数のお客様にお待ちいただいている状態が継続し、翌年まで持ち越したお客様が多い中、1月においては過去最高の問い合わせ件数をいただいております、好調な状態が継続しております。

第4四半期においても引き続き広告宣伝活動に積極的な投資を計画しているため、通期においては当初の業績予想どおりの着地を見込んでおります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、平成26年4月11日付で株式取得により新たに子会社化した株式会社Xio(旧商号:株式会社DropWave 平成26年9月18日付商号変更)及び同社子会社株式会社フロンティアウェーブ、並びに平成26年5月23日付で株式取得により新たに子会社化した株式会社アンティローザを連結の範囲に含めております。

平成26年6月1日付で株式会社JG Beautyは株式会社アスティを存続会社、株式会社JG Beautyを消滅会社とする吸収合併を行ったことに伴い、第1四半期連結会計期間より連結子会社でなくなりました。なお、株式会社アスティは同日付で商号を株式会社ジャパングヤルズSCに変更しております。

株式会社クレアベルデは平成26年6月30日付で解散を決議し、連結子会社でなくなりました。

当第3四半期連結会計期間より、平成26年12月19日付で株式取得により新たに子会社化した株式会社エーエーディを連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,373,134	5,845,690
受取手形及び売掛金	5,509,321	8,321,780
商品及び製品	2,520,417	2,921,331
仕掛品	28,932	70,143
原材料及び貯蔵品	449,636	423,229
その他	2,091,341	2,330,723
貸倒引当金	△567,810	△754,484
流動資産合計	14,404,973	19,158,415
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,451,577	4,628,370
土地	2,748,974	2,748,974
その他(純額)	1,858,895	1,779,423
有形固定資産合計	9,059,448	9,156,769
無形固定資産		
のれん	1,585,255	2,027,788
その他	287,376	514,703
無形固定資産合計	1,872,632	2,542,492
投資その他の資産		
投資有価証券	117,222	118,635
その他	2,446,130	2,556,616
貸倒引当金	△11,622	△115,390
投資その他の資産合計	2,551,730	2,559,861
固定資産合計	13,483,811	14,259,122
繰延資産	59,913	81,073
資産合計	27,948,697	33,498,610

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,844,745	2,182,252
未払金	1,550,883	1,564,477
短期借入金	2,121,645	1,995,161
1年内返済予定の長期借入金	3,140,394	3,744,103
未払法人税等	261,687	441,286
賞与引当金	69,090	30,888
返品調整引当金	129,923	113,163
その他	4,566,997	6,855,882
流動負債合計	13,685,367	16,927,214
固定負債		
社債	2,602,300	3,289,000
長期借入金	4,017,477	4,750,553
役員退職慰労引当金	4,158	4,158
退職給付に係る負債	39,234	46,255
その他	1,924,620	1,686,615
固定負債合計	8,587,789	9,776,581
負債合計	22,273,157	26,703,796
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	189,250	189,250
利益剰余金	4,850,909	5,781,095
株主資本合計	5,140,160	6,070,345
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,549	464
その他の包括利益累計額合計	2,549	464
新株予約権	5,246	15,105
少数株主持分	527,585	708,897
純資産合計	5,675,540	6,794,814
負債純資産合計	27,948,697	33,498,610

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	15,448,529	28,365,042
売上原価	6,779,357	10,270,953
売上総利益	8,669,172	18,094,088
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	3,859,864	5,027,692
その他	4,580,079	11,664,178
販売費及び一般管理費合計	8,439,943	16,691,870
営業利益	229,228	1,402,218
営業外収益		
受取利息及び配当金	235,343	2,990
受取賃貸料	692	-
匿名組合投資利益	68,250	41,288
その他	41,906	23,673
営業外収益合計	346,192	67,952
営業外費用		
支払利息	69,712	187,438
その他	24,297	71,941
営業外費用合計	94,010	259,380
経常利益	481,410	1,210,790
特別利益		
固定資産売却益	-	147,720
子会社株式売却益	1,129,845	351,841
その他	-	25,530
特別利益合計	1,129,845	525,092
特別損失		
固定資産除却損	41,244	24,352
リコール損失引当金繰入額	16,198	-
その他	9,630	129,310
特別損失合計	67,073	153,662
税金等調整前四半期純利益	1,544,182	1,582,220
法人税、住民税及び事業税	155,226	528,270
法人税等調整額	△601,548	△148,850
法人税等合計	△446,321	379,419
少数株主損益調整前四半期純利益	1,990,504	1,202,801
少数株主利益	10,695	30,216
四半期純利益	1,979,808	1,172,585

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,990,504	1,202,801
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,126	△2,084
その他の包括利益合計	9,126	△2,084
四半期包括利益	1,999,631	1,200,716
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,988,935	1,169,861
少数株主に係る四半期包括利益	10,695	30,855

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	美容・健康 関連	食品関連 (注) 3	アパレル 関連	住関連 ライフ スタイル	エンター テイメント	計		
売上高								
外部顧客への売上高	10,927,794	1,175,868	2,018,539	1,326,327	—	15,448,529	—	15,448,529
セグメント間の内部 売上高又は振替高	79,238	5,993	—	2,615	—	87,847	△87,847	—
計	11,007,032	1,181,862	2,018,539	1,328,942	—	15,536,376	△87,847	15,448,529
セグメント利益 又は損失(△)	486,995	91,205	△141,423	60,591	—	497,369	△268,140	229,228

(注) 1 セグメント間取引消去又は各報告セグメントに配分していない全社費用によるものであります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 食品関連事業は平成25年8月までの実績を記載しております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

第2四半期連結会計期間において、株式会社イデアインターナショナルの株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「住関連ライフスタイル事業」のセグメント資産が2,988,225千円増加しております。

(子会社の減少による資産の著しい減少)

第2四半期連結会計期間において、「食品関連事業」を構成していた株式会社弘乳舎の全株式を売却し、連結の範囲から除外したことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「食品関連事業」のセグメント資産が、2,924,572千円減少しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第2四半期連結会計期間より、株式会社イデアインターナショナルが連結子会社となったこと及び株式会社弘乳舎が連結子会社でなくなったことに伴い、事業セグメントの区分方法を見直し、従来の報告セグメント「美容・健康関連事業」「食品関連事業」「アパレル関連事業」から「美容・健康関連事業」「アパレル関連事業」「住関連ライフスタイル事業」に変更しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	美容・健康 関連	食品関連	アパレル 関連	住関連 ライフ スタイル	エンター テイメント	計		
売上高								
外部顧客への売上高	15,630,794	—	3,652,313	3,667,151	5,414,783	28,365,042	—	28,365,042
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	100,437	490,679	11,722	602,839	△602,839	—
計	15,630,794	—	3,752,750	4,157,830	5,426,505	28,967,881	△602,839	28,365,042
セグメント利益 又は損失(△)	1,616,310	—	△45,860	39,882	141,808	1,752,140	△349,922	1,402,218

(注) 1 セグメント間取引消去又は各報告セグメントに配分していない全社費用によるものであります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、株式会社アイデアインターナショナル及び株式会社ゲオディノス(現SDエンターテイメント株式会社)が連結子会社となったこと並びに株式会社弘乳舎が連結子会社でなくなったことに伴い、事業セグメントの区分方法を見直し、従来の報告セグメント「美容・健康関連事業」「食品関連事業」「アパレル関連事業」から「美容・健康関連事業」「アパレル関連事業」「住関連ライフスタイル事業」「エンターテイメント事業」に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間の比較情報として開示した前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントにより作成しており、前連結会計年度の第3四半期連結累計期間に開示した報告セグメントとの間に相違が見られます。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「美容・健康関連」セグメントにおいて、株式会社Xio及び株式会社エーエーディの企業結合に伴い、当第3四半期連結累計期間にのれんがそれぞれ196,099千円、31,363千円発生しております。

「アパレル関連」セグメントにおいて、株式会社アンティローザの企業結合に伴い、当第3四半期連結累計期間にのれんが412,972千円発生しております。

「住関連ライフスタイル」セグメントにおいて、株式会社アイデアインターナショナルの追加投資に伴い、当第3四半期連結累計期間にのれんが27,025千円発生しております。

(重要な後発事象)

I 株式分割

当社は、平成26年11月14日開催の取締役会決議に基づき、当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げ、株式の流動性を高めることで、投資家の皆様により投資し易い環境を整えるとともに、投資家層の拡大を図るために、次の株式分割を行っております。

1. 株式分割の割合及び時期：平成27年1月1日付をもって平成26年12月31日の株主名簿に記録された株主の所有株式数を1株につき2株の割合をもって分割する。
2. 分割により増加する株式数 普通株式30,859,000株
3. 1株当たり情報に及ぼす影響は、(1株当たり情報)に反映されております。

II 資本業務提携契約の締結及びそれに伴う第三者割当増資の引受け

当社は、平成27年2月12日開催の取締役会において、夢展望株式会社(東証マザーズコード番号3185)との間で資本業務提携契約を締結し、夢展望株式会社の実施する第三者割当増資を引受けること及び同社の子会社化を決議しております。

なお、当該第三者割当増資については、平成27年3月30日開催予定の夢展望株式会社臨時株主総会において承認されること、及び公正取引委員会による承認が得られることを条件にしております。

その概要は以下のとおりであります。

1. 資本業務提携の内容等

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 夢展望株式会社
事業の内容 インターネット通信販売業

(2) 資本業務提携を行った主な理由

当社グループの通信販売事業の更なる拡充とアパレル関連事業の業容拡大、夢展望株式会社の財務基盤の確立並びに双方の企業価値を高めるためのものであります。

(3) 資本業務提携の日程

平成27年2月12日 第三者割当増資引受けの取締役会決議
平成27年2月12日 資本業務提携契約の締結
平成27年3月30日 夢展望株式会社臨時株主総会決議
平成27年3月31日 第三者割当増資払込期日

(4) 取得株式数、議決権比率

異動前の所有株式数	一株(議決権の数：一個) (議決権所有割合：一%)
第三者割当増資の引受けによる取得株式数	3,900,000株(議決権の数：39,000個)
異動後の所有株式数	3,900,000株(議決権の数：39,000個) (議決権所有割合：73.54%)

(5) 第三者割当増資引受の内容

払込期日 平成27年3月31日
引受株式数 普通株式 3,900,000株
払込金額 1株につき金192円
払込金額の総額 金748,800,000円